

三鷹ネットワーク大学推進機構 御中

令和5年度「民学産公」協働研究事業

「みたか温故知新マップ」アプリの開発研究

研究成果報告書

エム・ティ・プランニング株式会社

2024年2月22日

目次

|    |                           |    |
|----|---------------------------|----|
| 1. | 「民学産公」協働研究事業の概要・目的        | 3  |
| 2. | 事業申請団体プロフィール              | 4  |
| 3. | 事業実施体制、地図・位置空間プロジェクトの実績紹介 | 5  |
| 4. | 事業実施期間                    | 6  |
| 5. | 協働研究事業の詳細                 | 7  |
|    | 5-1. 協働研究事業の背景と目的         | 7  |
|    | 5-2. 三鷹市地図調査              | 8  |
|    | 5-3. “三鷹らしさ”の考察           | 9  |
|    | 5-4. 地図利用空間の調査            | 12 |
|    | 5-5. 表現方法検討               | 13 |
|    | 5-6. 情報構成・実装方法検討          | 13 |
|    | 5-7. プロトタイプ製作             | 14 |
| 6. | 協働研究事業の成果と今後              | 17 |
| 7. | 謝辞                        | 18 |

## 1. 「民学産公」協働研究事業の概要・目的

本研究では、“三鷹らしさ”を市民で考察しながら、三鷹の今昔を行き来できる「みたか温故知新マップ」アプリのデザイン開発を研究しました。三鷹に関わる誰もがスマホで簡単にアクセスでき、アプリを通して、地図の中の記憶を語り合い伝承し、地図を介して多世代交流を育む温かいコミュニケーションを提案しています。三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぎ、未来のまちづくり・都市デザインのための郷土資料となることをめざしています。

「温故知新」という考え方を軸に地図と歴史・文化の情報を集めてアプリとすることで、民俗学のDXのきっかけとなります。また、多世代交流を楽しみながら、一人ひとりのライフステージとも重ね合わせることで、将来は介護やヘルスケアの分野での活用の可能性も広がります。

今年度の研究では、“三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐために、関係各所とのデジタル化をめざした連携が可能か”、さらに、“三鷹の地図と年表、歴史文化コンテンツを、わかりやすくデザインできるか、利用していただけるか”を明らかにしていきながら、プロトタイプ版 Web アプリの製作をゴールとしました。

“三鷹らしさ”を市民で考察しながら、三鷹の今昔を行き来できる地図アプリのデザイン開発を研究しました。

- スマホで簡単にアクセスできる
- 日常のウォーキングのお供に使える
- 地図の中の記憶を語り合い伝承する多世代交流を育む
- 手のひらサイズの歴史学習・郷土資料に
- 未来のまちづくり・都市デザインのための基礎資料に



三鷹のウェルビーイングやまちづくりに貢献したい！

- 一人ひとりの記憶や物語
- 地図上に浮かべて記録、共有
- 地図を介した温かいコミュニケーション
- 介護やヘルスケアの分野での活用の可能性



### ●明らかにしたいこと

- 三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐために、関係各所とのデジタル化をめざした連携が可能か。
- 三鷹の地図と年表、歴史文化コンテンツを、わかりやすくデザインできるか。利用していただけるか。



### ●先見性

- 郷土資料のデジタルアーカイブはもとより、スマホを利用して、今この場所で歴史を感じ取りながら、まちを歩く。サイバーとリアル融合。
- 個人の記憶や人生の物語を語るきっかけを作り、これからの理想のまちへの想像を掻き立てる、地図を介した温かいコミュニケーションを目指している。

### ●社会貢献(地域社会の発展に役立つ取組み)

- これからのまちづくりにつながる、郷土愛を育むきっかけとなる。
- 地図を介した多世代のコミュニケーションにより介護やヘルスケアにも貢献できる。

### ●実効性

- 三鷹の今昔をテーマにした多世代交流のワークショップ実施。
- 三鷹エコミュージアム研究『みいむ』や「三鷹まるごと博物館」との連携。

### ●持続性

- 地域の歴史学習への活用。
- 観光への活用。

### ●発展性

- 小中学校での地域学習への活用。
- 個人のライフステージの記憶。

### ●本協働研究事業は、特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構 定款第4条に定める特定非営利活動のうち、

- (3) まちづくりの推進を図る活動
  - (12) 情報化社会の発展を図る活動
- に、関連します。



## 2. 事業申請団体プロフィール

### エム・ティ・プランニング株式会社

所在地 東京都渋谷区広尾 1-3-18 広尾オフィスビル 6F

電話 03-6456-2843

ファックス 03-6456-2844

URL <https://www.mt-planning.com>

代表取締役社長 土屋健一

取締役会長 三澤 純子

設立 2001年3月27日

事業内容

1. 工業製品の企画・設計・デザイン・コンサルティング
2. ソフトウェアの企画・デザイン・制作・コンサルティング
3. 企業広報、広告宣伝及びイベントの企画・デザイン・運営
4. インターネットを利用した各種提供サービス
5. 都市計画・環境設計における企画・デザイン・コンサルティング
6. 市場調査・分析及び技術動向の調査・研究

#### 協働研究事業での役割

1. 事業の企画・運営
2. 地図・コンテンツ調査の実施
3. アプリケーションの UX/UI デザイン
4. アプリケーションの開発・試作
5. 関係者への説明・ヒアリング

#### 本協働研究従事者

三澤純子、濱 晶子、元永二郎



### 3. 事業実施体制、地図・位置空間プロジェクトの実績紹介

<代表>エム・ティ・プランニング株式会社

プロデューサー:三澤 純子

デザインディレクター:濱 晶子

プログラマー:元永 二郎

<学識経験者>慶応大学環境情報学部 石川 初 教授

<協力>三鷹ネットワーク大学推進機構

エム・ティ・プランニングは、ICT を軸に未来を具現化する企画・デザイン会社です。みたか太陽系ワークのデザインディレクション・太陽系サポーターとして、三鷹市や三鷹ネットワーク大学推進機構と深く関わらせていただいています。また、日頃から地図や位置空間・アプリに関連したプロジェクトや公共インフラ関連のUI/UX デザインにも多数参画しています。

石川初教授は、ランドスケープ・アーキテクチャ/地図/庭園/景観/生活風景をキーワードとした研究・教育に従事、プログラマー・元永二郎と共に地図と歴史のプロジェクトも多数実施しています。

三鷹ネットワーク大学には、本研究において、地図・歴史・文化に関連した三鷹市関係各所とのデジタル化をめざした連携についてご協力・調整とアドバイスをいただきました。

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <p>&lt;代表&gt;エム・ティ・プランニング株式会社</p> <p>&lt;協働研究実績(平成30年度)&gt;<br/>「三鷹のまちの魅力を伝えるデジタルコミュニケーション事業」<br/>『お宝発見!ミタカをミタカ』アプリ開発・ユーザービリティの検証</p>   | <p>&lt;みたか太陽系ワーク&gt;デザイン支援/サポーター</p>   | <p>&lt;地域歴史地図(長崎県)&gt;</p>  | <p>&lt;交通情報システムのUI設計支援&gt;</p>  |
| <p>&lt;アプリ開発&gt;プログラマー 元永二郎</p> <p>&lt;時層地図&gt;<br/>(一般財団法人日本地図センター)<br/>「時層」とは「時間の重なり」。旧版地図や写真を重ねて見ることで、地層のように、その土地の変遷を捉えることができるスマートフォン・タブレットアプリです。</p>  <p>一般財団法人 日本地図センター Webサイトより</p> | <p>&lt;学識経験者&gt;慶応大学環境情報学部 石川 初 教授</p> <p>&lt;千年村プロジェクト&gt;<br/>「千年村」とは、千年を基準として、自然的社会的災害・変化を乗り越えて、生産と生活が存続してきた土地をさします。様々な変容を受け入れつつ、長い存続の歴史を持ちつづけてきた土地には、生存にまつわる仕組みがすでに育まれているはず。</p>  <p>千年村プロジェクト Webサイトより</p> |   |  |

#### 4. 事業実施期間

事業実施期間:2023年6月15日～2024年2月16日

三鷹市地図調査・“三鷹らしさ”の考察の期間:

2023年6月15日～2023年11月30日

- ・みたか都市観光協会 ヒアリング
- ・みたか都市観光協会 企画委員会参加
- ・三鷹図書館 文献調査
- ・表示灯株式会社 ヒアリング
- ・本の森ちゅうおう 視察

アプリの開発・試作の期間:

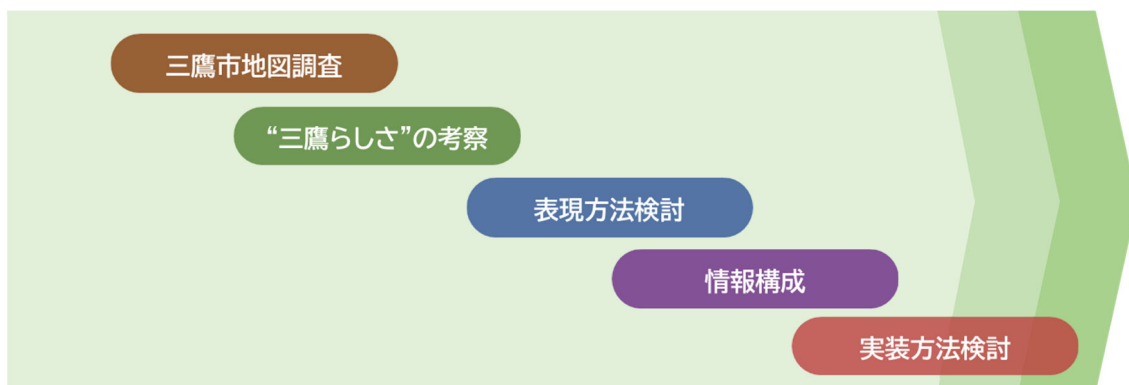
2023年10月1日～2024年2月16日

- ・関係者ヒアリング・地図コンテンツの利用許諾申請・データ提供申請
- ・アプリの情報設計・デザイン・開発・試作

【事業実施工程表】

| 項目             | 6月          | 7月                   | 8月 | 9月 | 10月          | 11月   | 12月      | 1月  | 2月    |
|----------------|-------------|----------------------|----|----|--------------|-------|----------|-----|-------|
| 三鷹市地図調査        | ★ヒアリング・リサーチ |                      |    |    |              |       |          |     |       |
| “三鷹らしさ”の考察     |             | ★“三鷹らしさ”を体感できるUXデザイン |    |    |              |       |          |     |       |
| 地図アプリ表現方法検討    |             |                      |    |    | ★UIデザイン・画面設計 |       |          |     |       |
| 地図アプリ情報構成検討    |             |                      |    |    |              | ★情報設計 | ★コンテンツ検討 |     |       |
| 地図アプリ実装方法検討    |             |                      |    |    |              |       | ★プログラミング | ★試作 |       |
| 今後の展開・アイデアプレスト |             |                      |    |    |              |       |          |     | ★検討会議 |

【研究のフロー】



## 5. 協働研究事業の詳細

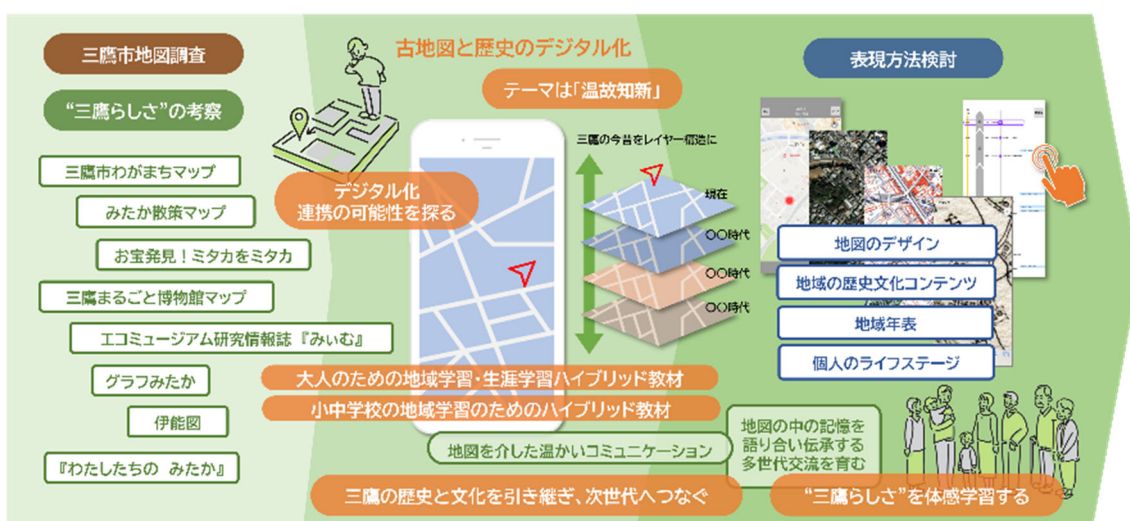
### 5-1. 協働研究事業の背景と目的

三鷹では、「三鷹まるごと博物館」や三鷹エコミュージアム研究『みいむ』による郷土研究をはじめ、みたか都市観光協会の活動、商店街の活性や健康増進、天文科学情報等、さまざまなアプリ・Web・印刷物・資料による発信が積極的に実践されています。

私たちは、「温故知新」という考え方を軸に、このように発信された三鷹の多様で魅力的な、郷土愛に溢れる地図や歴史・文化の情報を集めて紹介するアプリを開発し、誰もがスマホで簡単にアクセスできて、ウォーキングのお供として、また地域学習・生涯学習のデジタル教材として活用いただきたいと考えました。

今年度の研究では、「みたか温故知新マップ」のプロトタイプ版 Web アプリの製作をゴールとしました。三鷹市地図調査から進め、関係各所への訪問やヒアリング、そこから“三鷹らしさ”を考察し、体感できる表現方法を検討、UX/UI デザイン設計・開発・試作を行いました。アプリに実装する地図や写真、記事については、「三鷹まるごと博物館」や三鷹エコミュージアム研究『みいむ』、三鷹市ホームページの「みたかアルバム」はじめ、関係各所との連携・許諾も重要となります。スマホの小さな画面の中に三鷹の情報を充実させるために、一つ一つの表現に細心の注意を払いながら製作を進めました。

#### 【表現方法検討までの研究プロセス】





## 5-2. 三鷹市地図調査

三鷹にある多様な地図を調査しました。自治体提供の、市民の日常生活に便利なスポットを記したデジタルマップ「三鷹市わがまちマップ」、三鷹図書館本館資料室での文献調査では、「伊能図」のなかに馴染みのある三鷹の地名を発見、古地図の閲覧は図書館でじっくり楽しめます。みたか都市観光協会には多種多様な三鷹の観光マップが揃い配布されています。またホームページでは市民参加で作成されたおすすめスポットの紹介も充実しています。ヒアリングや企画委員会に参加させていただき、三鷹愛・郷土愛溢れるお話を伺いながら、地図にまつわるイベントの企画が生まれる市民参加コミュニティの重要性も感じました。

観光ガイドはもちろんのこと地域の歴史学習教材という側面としても、三鷹市にたくさん存在する紙やデジタルの地図について、もっと市民に紹介し誘うしくみが必要であると感じました。

**三鷹市地図調査**

**三鷹市わがまちマップ**  
<https://www2.wasmap.jp/mitakacity/Mao?mos=2500&id=1&nto=of&mpx=129.55991725092417&noy=35.68331255853619&opri=3>  
 三鷹市が提供するマップ。インターネットで市内の公共施設などの情報を検索できる。目標地点からの距離測定、道順などの作図機能を備えている。「三鷹市防災マップ」「浸水ハザードマップ」「固定資産税路線価格図」「ごみリサイクルマップ」「都市計画図」「三鷹市見どころマップ」「みたか旧字名・地名マップ」などが提供されている。作成・発信部署：三鷹市企画部情報推進課。2019年公開。

**自治体提供・市民生活に密着した地図**

**防災マップ**



「安全・安心」のマップ一覧

**三鷹市みどころマップ**



「観光・文化・自然」のマップ一覧

**暮らしのマップ**

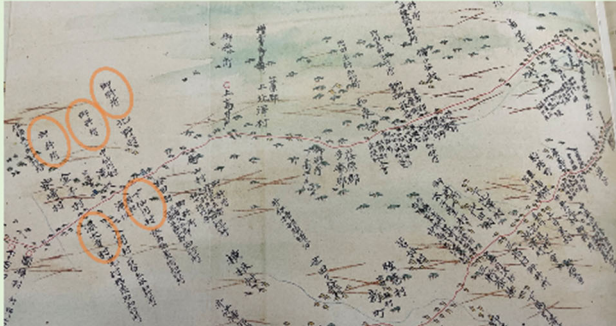


「暮らし」のマップ一覧

**三鷹市地図調査**

**三鷹市立図書館 本館資料室所蔵の古い地図**  
<https://www.library.mitaka.tokyo.jp/blog76&pid=659>  
 三鷹市の古い一般図は、明治以降、住宅地図は昭和47(1972)年から現在まで(昭和41・42・46年は『三鷹市商工住宅名鑑』、以降は『ゼンリン住宅地図』)閲覧できる。

**「温故知新」**



伊能図大全 第90号 東京(1) 三鷹市立図書館本館蔵 測量・伊能忠敬 1800~1816年。三鷹市付近には、3つの「御料所」の文字がある。

『明治前期・昭和前期東京都市地図 2 東京北部』(縮尺 1996) L291 000 P.34~39, 154~163  
資料コード: 0113170682

『東京都地図名鑑集 1991』(人文社 1991) L291 010 P.26  
資料コード: 0112049473

『多摩地形図 1942(昭和17) 44(同19)年』(之瀬 2004) L454.9 020 P.20~21(仙川)  
資料コード: 0113689038

『明治・大正・昭和 東京1万分1地形図集成』(国土院 1983) L291 000 P.94  
資料コード: 0110454717

『明治前期東京平野地誌図集成 - 1880(明治13)年~1886(明治19)年 -』(縮尺 1989) L291 010 P.143  
資料コード: 0112879317

『基本 明治日本国勢地図 新版 - 縮尺二十万分一図集成 -』(縮尺 1983) (R291) P.72(東京)  
資料コード: 0110460367

『東京都市図集 』(昭和42年度新版) (国際地理学会 1967) L291 010 P.32(同)  
資料コード: 0110983327



### 5-3. “三鷹らしき”の考察

三鷹市地図調査を進めながら、“三鷹らしき”とは何か、を考察しました。三鷹を「屋根のない博物館」に見立て、エコミュージアム研究を实践する「三鷹まるごと博物館」の活動は、まさに「温故知新」の考え方であり、三鷹ならではの郷土愛の表現であると感じました。2023年12月までの約2年半にわたり活動されてきた「三鷹市 市民参加でまちづくり協議会 ～Machikoe(マチコエ)～」のなかの「心ゆたかなまちづくり部会 文化・歴史グループ」においても、「三鷹まるごと博物館」連携のロードマップについて施策提案しており、三鷹の歴史と文化を語ることに欠かせない存在となっています。



「三鷹らしさ」の考察

みたか都市観光協会 ヒアリング

「温故知新」

「お宝発見！ミタカをミタカ」三鷹のお宝。  
<https://kanko.mitaka.ne.jp/docs/2019040400037/>  
 みたか都市観光協会の設立10周年記念(2019年)。観光協会がすすめる三鷹のお宝24選を、協働研究(2018年)でデジタルスタンプラリー実施。二次利用としてコンテンツをWeb化。

協働研究(2018)による三鷹のお宝紹介




参考コンテンツ

三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐ

「三鷹らしさ」の考察

「三鷹まるごと博物館」活動調査

「温故知新」

三鷹を「屋根のない博物館」に見立てる。<https://ecomuse.jp/>  
 <コンセプト抜粋> 古い農家や蔵、街角に残された石仏、見慣れた街並みも、そこに「エピソード」がある。三鷹が、現在の姿になった背景と、移り変わりを考え、次世代に伝えることで、未来の三鷹のまちづくりにも役立てる。




参考マップ・年表

三鷹まるごと博物館マップ。  
 紙マップあり。表にマップ、裏に年表と歳時記など。  
 100円。発行：三鷹市スポーツと文化部生涯学習課。  
 販売場所・みたか観光案内所・三鷹市大沢の里水車経営農家・三鷹市大沢の里古民家など。

<歴史>  
 1990年 エコミーシウム 国際博物館会議で定舞  
 1993年 文科省研究会と考え方共有  
 2001年 三鷹市民プラン21会議 三鷹型エコミーシウム推進  
 2008年 第3次基本計画2次改訂 人材モデル事業化  
 2012年 三鷹まるごと博物館探検  
 2014年 プロジェクトチーム発足  
 2018年 「みいむ」発行  
 2020年 生涯学習プラン2022 コア・リテライトリート

「三鷹らしさ」の考察

「三鷹まるごと博物館」活動調査

「温故知新」

エコミュージアム研究 情報誌「みいむ」。  
<https://ecomuse.jp/magazine/>  
 Mitaka Eco Museum Excursion の略「MEME」と、リチャード・ドーキンスが名付けた社会的遺伝子「MEME」。エコミュージアムの活動や文化財の情報など地域のディープな話題を満載した情報誌。歴史的背景や変遷を研究し未来につなげる思いを込めたコミュニケーションツール。




発行元：三鷹市スポーツと文化部生涯学習課。  
 年1回発行。5号(2023年)まで発行済。  
 無料配布場所：生涯学習課、相談・情報課、生涯学習センター、市立図書館、各コミュニティ・センター、みたか観光案内所

Webサイトでは、表紙のみ(創刊準備号～2号(2020年)まで掲載済。中身が見えないこと、更新が途絶えていることが残念。

参考コンテンツ

「三鷹12万年史 海と陸の変遷とヒトの暮らし」5号(2023年)

「火の見瀬と三鷹の河防の歴史」1号(2019年)

「戦国時代の三鷹 島屋敷と天神止城」4号(2022年)

**“三鷹らしさ”の考察**

「三鷹まるごと博物館」活動調査

「グラフみたか」に描かれた風景」3号(2021年)

「甲州道中五十三里の古道を歩く、矢野庵さんに聞く」3号(2021年)

「みたかまるごと博物館を歩く—一文から令和へ」  
「わが町 人の話を聞いて歩こう」2号(2020年)

参考コンテンツ

「みたかまるごと博物館を歩く—一文から令和へ」  
「わが町 人の話を聞いて歩こう」2号(2020年)

デジタル化  
連携の可能性を探る

古地図と歴史のデジタル化

テーマは「温故知新」

三鷹の今昔をレイヤー構造に

現在  
〇〇時代  
〇〇時代  
〇〇時代

“三鷹らしさ”を体感学習する

地図の中の記憶を語り合い伝承する  
多世代交流を育む

三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐ

**“三鷹らしさ”の考察**

マチコエ 心ゆたかなまちづくり部会 文化・歴史グループ

三鷹市市民参加でまちづくり協議会～Machikoe(マチコエ)～  
最終報告会発表資料  
<https://mitaka-machikoe.com/wp/wp-content/uploads/2023/07/第4回全体会最終報告発表シート.pdf>

20年後を見据え、STEPを臨んだ、まちづくりロードマップ

2023年

2043年

プロジェクト制作

心ゆたかなまちづくり部会 文化・歴史グループ 発表資料より、  
「三鷹まるごと博物館」構想の探索と進化（最終報告会発表 p134）

「三鷹まるごと博物館」連携のロードマップ（施策提案）（最終報告会発表 p139）

**“三鷹らしさ”の考察**

『わたしたちの みたか』

デジタル教材  
連携の可能性を探る

小中学校の地域学習のためのハイブリッド教材

「温故知新」

大人のための地域学習・生涯学習ハイブリッド教材

『わたしたちの みたか』 小学3・4年 社会副読本 2023年  
三鷹市教育委員会  
小学校社会科副読本改定委員会(令和4年度)  
改定履歴: S38年、S57年、H4年、H14年、H20年  
1. わたしたちの市  
2. 市の人々の仕事(農家・工場)  
3. まちの安全なくらしを守る(消防・警察)  
4. 三鷹市の移り変わり(人口、交通、土地、施設、生活の道具、年表)  
付録地図: 昭和22年頃の三鷹町/現在の三鷹市(制作: 帝国書院)

近年はQRコード付き(タブレット利用学習のため)

『伸びゆく三鷹』 中学校社会科  
三鷹市教育委員会  
・小学校での学習から「身近な地域」単元として継続学習  
・空から見た三鷹のようす 昭和52年 1/13000  
・大正中頃の三鷹村付近

『モノトーンの記憶』～写真集 続みたかの今昔 (60周年)  
三鷹市教育委員会 2010年

『三鷹周辺の道しるべと路傍の石造物 第1版』  
江間尚美 2021年

『グラフみたか』  
1990年～2008年までの三鷹の広報誌  
三鷹市発行

三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐ

“三鷹らしさ”を体感学習する



### 5-4. 地図利用空間の調査

三鷹市外の事例ですが、公共における地図利用空間についても調査しました。地域地図や案内表示で圧倒的なシェアを持つ表示灯株式会社を訪問、地図情報におけるビジネスモデルや公共交通との連携についてヒアリングしました。また、最新の郷土資料館を設置している中央区の「本の森ちゅうおう」も視察し、デジタル表現を活用した子どもも大人も楽しめる郷土資料や地図の見せ方、次世代への継承方法について体感し学びました。

「みたか温故知新マップ」アプリと公共空間との連携、地域交通路線図と古地図を重ね合わせるなど、新たな活用方法への期待が高まりました。

**表示灯株式会社ヒアリング**

地域地図・案内表示のビジネスモデルについてヒアリング。



表示灯(株)HPより



機能A 地図画(所在地)    機能B インデックス(編制別広告欄)    機能C 一般広告画

機能D ナビゲーション    機能E 読者案内広告



機能G ナビゲーション



機能H 読者案内広告(事後)



海老名サービスエリアで撮影



**本の森ちゅうおう 視察**

最新の郷土資料館を視察

令和4年12月4日開館。  
京橋図書館(現在地 中央区築地1-1-1)と郷土資料館(現在地 中央区明石町12-1)が併設され、さらに多目的ホールやカフェを備えた複合施設。

古地図が床一面に。  
タッチモニタで情報表示・検索  
モーション、インタラクション、クイズ。

1Fの郷土資料館の中に階段、上がると資料書棚・閲覧室につながっている(従来の資料室との連携)

子どもと大人と一緒に楽しめる。

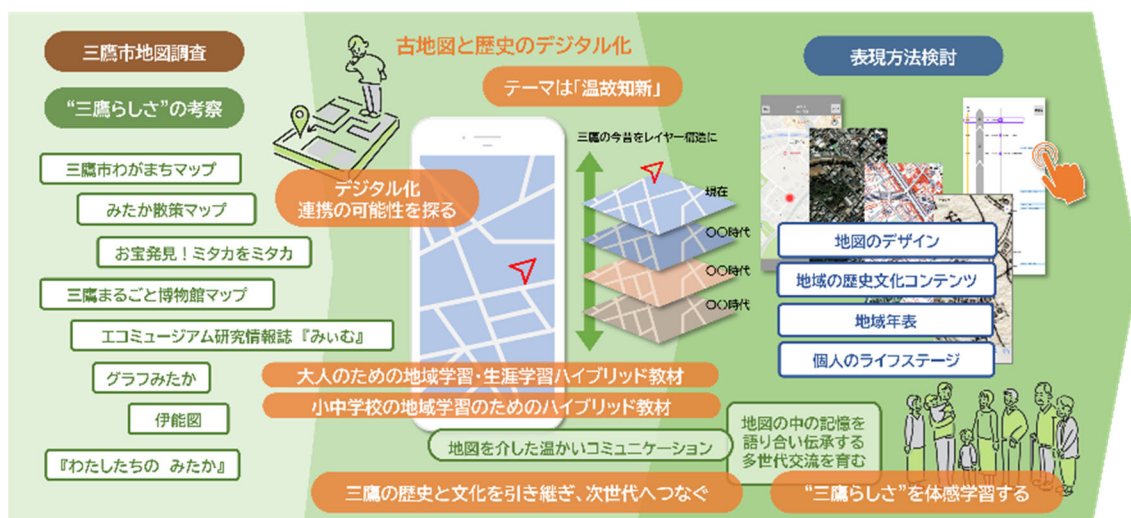





### 5-5. 表現方法検討

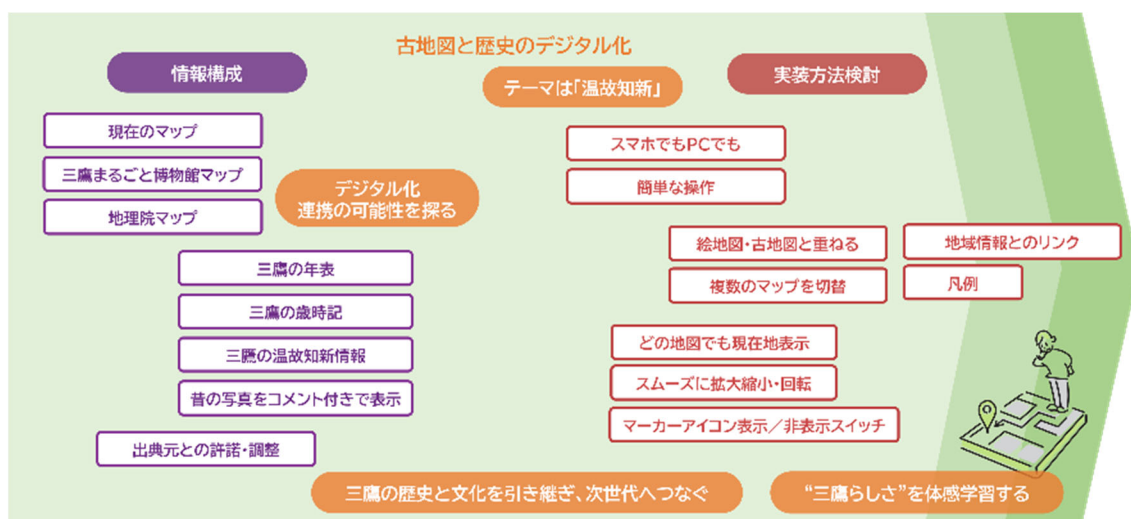
「三鷹まるごと博物館」やエコミュージアム研究が、三鷹の歴史・文化を語るうえで重要な役割を担っていることがわかりました。関連資料や地図をアプリで紹介し、歩いて楽しみ、時代の流れや歳時記を感じ、リアルな場所や図書資料等での深い学びに誘えるような表現を検討しました。

大人のための地域・生涯学習、小中学生の地域学習のためのハイブリッド教材となり、三鷹の歴史と文化を引継ぎ、次世代へつなぐことができるプラットフォームを目指しました。



### 5-6. 情報構成・実装方法検討

プロトタイプ製作のための、情報構成と実装方法を検討しました。「OpenStreetMap」「三鷹まるごと博物館マップ」「地理院地図」の3種の地図を行き来でき、年表・歳時記・温故知新情報（地域情報とのリンク）・昔の写真とコメントが地図と共に表示できるような情報構成としました。



## 5-7. プロトタイプ製作

プロトタイプ Web アプリは下記から、PC でもスマホでも体験いただけます。

<https://onkochishinmap.com/mitaka/>

プロトタイプ版では、「三鷹まるごと博物館マップ」の地図・年表・歳時記等コンテンツ、三鷹市HP「みたかアルバム」の写真と記事コンテンツを、出典元に利用許諾をいただき掲載しています。

『みたか温故知新マップ』とは、  
“三鷹らしさ”を市民で考察しながら、  
三鷹の今昔を行き来できる地図アプリです。  
アプリを通して、地図の中の記憶を語り合い伝承し、  
地図を介して多世代交流を育む温かい  
コミュニケーションを提案しています。  
三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぎ、  
未来のまちづくり・都市デザインのための  
郷土資料となることをめざしています。

**「みたか温故知新マップ」**

【プロトタイプ Webアプリ】  
<https://onkochishinmap.com/mitaka/>



【画面遷移】

三鷹の多様な地図を行き来できる



三鷹の歴史と文化を引き継ぎ、次世代へつなぐコンテンツ







## 6. 協働研究事業の成果と今後

本研究では、「温故知新」を軸に三鷹の地図調査をし、“三鷹らしさ”を考察、表現方法・情報構成・実装方法を検討しながら、プロトタイプを製作することができました。イラストマップや紙でのみ存在する地図についても、デジタルの地図と位置がぴったりと重ね合わさり、また簡単な操作やスムーズな動作、なめらかな地図表示が実現しました。また、三鷹市関係各所とのデジタル化を目指した連携も可能であることがわかり、今後の実効性が見えてきました。

この地図のプラットフォームを活用し、今後さらに歴史・文化コンテンツの充実を図り、三鷹らしく楽しいUX/UIデザインにブラッシュアップし、新たな表現方法の検討を継続していきます。そのためには、さらに三鷹市との連携を強化していきたいと思えます。ご協力をいただけますようお願いいたします。

アプリを使った、三鷹の今昔をテーマにした多世代交流のワークショップは、今年度の研究期間では実施できないまま終了となりました。こちらは次年度以降の課題となりました。

地図の中の記憶を語り合い伝承する多世代交流を育み、地図を介した温かいコミュニケーションが生まれ、また個人のライフステージにも寄り添えるアプリに育てていきたいと思えます。

### 【研究のまとめ】



【今後の可能性】



7. 謝辞

本協働研究事業を進めるにあたり、「温故知新」や「三鷹らしさ」の考察に面白さや奥深さを感じる視点やアドバイスをいただいた石川 初先生、講評で研究計画・方法についてリサーチと考察の重要性をご指導いただいた先生方、ヒアリングや企画会議の際に本研究事業について説明の機会とご理解をいただいたみたか都市観光協会と企画委員会の皆さま、関係各所との連携を図ってご指導をいただいた三鷹ネットワーク大学推進機構の皆さま、そして「三鷹まるごと博物館マップ」の地図・年表・歳時記等コンテンツの出典元である三鷹市スポーツと文化部生涯学習課、三鷹市 HP「みたかアルバム」の写真と記事コンテンツの出典元である三鷹市企画部広報メディア課の皆さまに、心から御礼申し上げます。